

子ども同士の接触や怪我に関する 教室の方針について

いつもえいごのひみつきちにお通いいただきありがとうございます。

子ども英語コース（3歳以上）にご在籍の生徒さまへ子ども同士の接触およびけがに関する教室の方針について、下記の通り共有させていただきます。

記

子ども同士の接触について

幼児期・児童期は友達との関わりが活発になります。その結果、トラブルやけんかにつながるようなケースが起こることもございます。

けんかは子どもの心の成長過程において必要な経験のため、止めるべきけんかを見極め、けがなどが起かない範囲で見守ってまいります。子どもたち同士で（必要に応じて講師がサポートのもと）仲直りやトラブルを解決することを英語で学ぶことも貴重な経験であり、ことばを通じたコミュニケーションにより解決に向かう姿勢はグローバル人材育成にとって重要なことと考えています。

他者を傷つける行為については加害生徒を制止し、同時に被害生徒にも止めてもらうために英語で何と言えば良いのか、意思表示の方法を講師が指導いたします。

英語のみという特殊な環境となりますので、お子様によってはストレスを感じることもあり、それが他者への接触という形で表面化し、順応して参加できるようになるまで時間がかかることもございます。

保護者さまにおかれましては、一緒に英語教育に励む仲間として、温かくお見守りいただくと同時に、当該生徒（加害・被害ともに）となった場合のご家庭での話し合い・心のケアをしていただきますようお願いいたします。

なお、加害生徒への継続的な指導の結果、改善が見られない場合にはクラス変更をお願いすることもございますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

お子さま自身で負ったけがについて

何事もなく保護者さま元へお子様をお返できるよう最善を尽くしておりますが、小さいなお子さまをお預かりしている教室のため、予期せぬけがが発生することもございます。

一方、小さなけがを積み重ねるほど、自分の身を守る力が高まり、結果的に大きな怪我や事故を防ぐことができるようになります。講師は何事も先回りしすぎないよう、まずは生徒本人の挑戦を見届け、けがにつながると予想される行為が見られる場合には制止を促します。

保護者への報告について

けがなどにつながってしまった場合、発生時の状況・発生後の対応とともに保護者さま（加害・被害生徒ともに）へ報告いたします。

運営上、講師が見逃してしまったたり、服の下で気づかずご報告に至らないケースや、講師の認識していないところでお子さまが精神的苦痛を感じているケースもございます。気になる点がございましたら速やかに教室までご報告・相談いただきますようお願いいたします。

免責事項

お子さま同士の接触によるけが、およびお子さま自身によって負ったけがに関しては、受講規約第16条（免責事項）にしたがい、医療費の請求・参加できない期間の返金などにはご対応いたしかねる旨ご理解いただけますようお願いいたします。

今後ともご同意・ご理解の上、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

